



め ば え

令和7年 9月 1日 第6号

園長の HUG KUMI メッセージ



先月お盆前に発生した線状降水帯で、各地で多くの方が被災されました。南九州では園が浸水したり、送迎時と重なって自家用車が水没したりと、日常の保育が困難な状況にあります。私も先日仲間からの支援金とともに見舞いに参りました。こういった災害時、非常時に一番大切なのは、もちろん命を護る対応ではありますが、そのために連絡先や勤務先等保護者の皆様の動向の把握、緊急時の連絡の把握がカギだと再認識いたしました。

各ご家庭でも「いざ」に備えての家族間での決め事等調整していらっしゃるとは思いますが、車が動かなくなったときも想定に入れていただきたいと実感しました。

お盆も過ぎ、少しは暑さも和らぐのかと思いきや、関東では日々最高気温を更新し、この暑さが10月まで続くのではないかといわれています。「夏バテ」「脱水」も長く続くということ…毎日のように発熱、嘔吐、下痢等体調不良のお子さんがいます。体調を崩しがちになりますので、睡眠や栄養等十分気を付けられているとは思いますが、少しの体調変化がいきなりの不調につながりますので、皆様もくれぐれもお気を付けください。

2学期は例年ですと運動会がありますが、6月に開催したことで「仲間意識」が早くできたことで、遊び自体早い段階で充実期に入っています。遠足や生活発表会と園生活の中でも節目の行事がありますが、これらは「見せるため」ではなく子どもたちそれぞれの育ちが「見える」機会だととらえています。

見た目だけのきらびやかなものではなく、自分でできるようになったことや、やりたいことに挑戦する大事を感じ取れる「意見表明」の行事でありたいと考えています。

それぞれの行事の詳細は近づきましたらお伝えしますが、子どもの意見を組み入れて、工夫し家族みんなで成長を喜び、園全体でお子さんの育ちを感じ取るものにしたいと企画いたします。

繰り返しますが、暑さバテは知らない間にたまっているそうです。体内の水分が足りないと筋肉の水分まで失われていきます。十分な栄養と睡眠と休養は子どもにも大人にも必要です。

秋へ向かう体力や抵抗力をつけるためにも、保護者の皆様も十分ご配慮ください。



<9月行事予定>

- 1日：はじめの会
 - 5日：ロケットくれよんコンサート
(にじ組希望者)
 - 25日：ブルガリアカザンラック
民族舞踏団 来園
 - 26日：英語あそび (にじ組希望者)
 - 30日：誕生会
- <職員キャリアアップの為の研修>
- 2日：保育マイスター研修<園長>
 - 3日：夕方オンライン研修<白石>
 - 4日：保育協議会保育士会研修研究大会
<園長・林>
 - 5日：パワーアップ研修
<職員多数参加>
 - 11日：キャリアアップ「マネジメント」研修
<園長・津山>
 - 20日：器楽研修<坂本>

<お知らせ>

- 少しずつ涼しくなり戸外での運動あそびの機会が増えてきます。安全に活動が出来るように靴のサイズの確認をお願いします。
- 6日（土）に男女共同参画センター ムーブで「出前育児教室」が開催されます。北九州市保育士会50周年記念でもあり手作りおもちゃコーナーやロケットくれよんさんのコンサートなど盛りだくさんのイベントです。

ほし組

自分の身の回りの事に少しずつ気が付き、手洗い・うがいを丁寧に行ったり、保育室の掃除、テーブル拭きなどに保育者と一緒に取り組んでいます。

ごみ、あった!



ゴシゴシ…
丁寧に洗うよ!

キレイになった!



保育室より ~今月のねらい~ 海組



ふわふわ組

★個々の発達や興味のある遊びの中で
探索や模倣を楽しむ

活動と休息を十分に取り、一人一人の発達に
応じて興味を持った様々な遊びを楽しみながら
保育者と一緒にたくさん体を動かします。

ゆらゆら組

★友だちへの関心を高め簡単なやりとりを
楽しみながら、ごっこやふれあい遊びを喜ぶ

一人遊びから他者に興味を持ちだしています。
ごっこ等を通して、友だちへの関心を高めながら
やり取りを楽しめるようにします。



きらきら組

★保育者や友だちと、運動遊びを通して
様々な体の使い方を楽しむ。

室内外での遊びの中で、走る、跳ぶ、登るなどの
ダイナミックな動きや音楽に合わせて踊ったり、
体を動かしたりすることを楽しみます。



保育室より ~今月のねらい~ 宙組

ほし組

★友だちとルールのある遊びを楽しんだり
感じた事を体や楽器を使って表現したりする
楽しさを味わう。

経験や感じた事を、言葉で知らせる姿が
見られているので、ルールのある遊びを通して
相手の気持ちに気付いたり、言葉や体・音など
様々な表現遊びが楽しめるようにしたりします。



つき組

★様々な活動に意欲的に取り組んだり
リズムに合わせて体を動かしたりする
楽しさを味わう。

“やってみたいな・やってみようかな”という
意欲を高め、取り組みを見守ったり 励ました
りしていきます。また、保育者や友だちと一緒に
表現する楽しさが味わえるようにします。



にじ組

★同じ目的に向かって取り組むこと中で
自分の考えを伝え、相手の思いも
尊重しながら工夫して遊ぶ。

自分の思いを伝えながら様々な活動を
楽しんでいます。相手の発想や思いに
共感しながら一緒に取り組む喜びや遊びが
展開していく楽しさを味わるようにします。

